

# 意見書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

平成 27 年 9 月 8 日

## 1. 意見陳述申込者

ふりがな

ご氏名

年齢 6 / 歳

性別 男・女

ご住所 天塩郡天塩町

## 2. ご意見

祖父が明治の年代天塩の地へ植して今年で100年余、私の祖父も又天塩の作返地区で天塩川の渡船業を明治の末迄営んでいられます。その頃私の父(七)と叔父(七)は天塩川に流れる巨木の筏を見、手伝いをしていたようです。物資を運ぶ長内船の事巨大なチウヤメにおどろいた事、大雨後の大水害で家が流されたこと等を伝之衛が小さいました。南極当時の天塩川はすさまじいおかしなようです。しかし今の天塩川は整備・管理されて水害の被害もなく生活が安定したのは良いことだと思います。反面天塩川に愛着をもちなくなったのは何故なのだろうかと思えます。この頃に泳いだり貝をとり、簡単に魚をとり出来なくなったのは残念な事です。今一度地域の人が川に生かす川を利用して共に生きる道を見出すことが必要なのではないかと思えます。川は小さいながら、魚は沢山いるのか、他の生き物は、又山の木々は大丈夫なのか、森や林は育っているのか、もう一度総点検してみる事が必要だと思います。川と共に流域の人が自らの環境問題に留意して、生活の排水、産業排水の整備と浄化と実行し、自然と共に生きる知恵と磨いていくことも大事なことで、便利の良い事だけを追求しすぎて、一方では未来を破かいすことになると思います。私の夢は、全国の人に天塩川の南極の物語りと美しさ、そして四季の自然の美しさを見ていただくために拠点に川の駅とつくる地域をむすぶ遊覧船を走らせ、観光と地域の交流と活性化に役立つような事業ができればよいなと思っています。

\*上記のご意見記入欄が不足する場合は、本意見陳述申込書と併せて別紙で提出してください。